

令和6年8月29日
感染症対策センター 感染症対策グループ
感染症対策監 遠藤 攝
電話 055-223-1490

報道関係者各位

山梨県の急性出血性結膜炎の流行状況について (富士・東部保健所管内警報レベル入り)

令和6年第34週(8月19日～8月25日)の感染症発生動向調査結果は次のとおりです。

急性出血性結膜炎の定点あたり報告数

富士・東部保健所管内：**1.50人**※1

富士・東部保健所管内は、警報レベル基準値である1.00以上となったことから急性出血性結膜炎の**警報レベル**※2に入ったと考えられます。

今後流行が拡大する可能性があることから、裏面の予防対策を改めて県民に周知したいので、報道機関の皆様方にも御協力をお願いいたします。

※1【富士・東部保健所管内】定点数2医療機関合計報告数3人 3人÷2医療機関＝1.50人

※2 定点1医療機関あたりの報告数が1.00以上で 警報レベル

(注意報レベルの設定なし。定点あたり報告数が0.1を下回ると解除。)

【保健所別直近の定点あたりの報告数】

週	山梨県	中北	峡東	峡南※3	富士・東部	参考) 甲府市
34週(8/19～8/25)	0.33	0.00	0.00	－	1.50	0.00
33週(8/12～8/18)	0.00	0.00	0.00	－	0.00	0.00
32週(8/5～8/11)	0.00	0.00	0.00	－	0.00	0.00
31週(7/29～8/4)	0.22	0.00	0.00	－	1.00	0.00
30週(7/22～7/28)	0.56	0.00	0.00	－	2.50	0.00

※3 峡南保健所管内に眼科定点はありません。

【直近の流行状況】

令和6年第24週(6/10～6/16) 富士・東部保健所管内

●急性出血性結膜炎とはどんな病気？

- ✓ エンテロウイルスによる感染症です。
- ✓ 感染症法では定点把握対象の5類感染症に分類され、定点に指定されている眼科が、基準に基づいて診断した場合、保健所に届出がされることになっています。

●どんな症状があるの？

- ✓ 突然の強い目の痛み、異物感、羞明感(まぶしく感じる事)などで始まり、結膜の充血、特に結膜下出血を伴うことが多いです。
- ✓ まぶたの腫れ、めやに、結膜浮腫(白目やまぶたの結膜がむくむ)などが高頻度にみられます。
- ✓ 多くの場合は約1週間で治癒しますが、まれに罹患後6～12か月後に四肢の運動麻痺を来すことがあるので、経過観察をする上で注意する必要があります。

●どうやって感染するの？

- ✓ 接触感染です。ウイルスにより汚染されたティッシュペーパー、タオル、ハンカチ、洗面器などに触れるなどして感染します。

●治療方法と予防策は？

- ✓ 急性出血性結膜炎に対する治療法はありませんが、細菌の2次感染を防ぐ目的で、抗菌薬等の点眼を行います。
- ✓ エンテロウイルスはアルコール消毒が効きにくいので、流水と石けんによる手洗いで予防しましょう。またタオルや点眼薬などの共用を避けることが重要です。